



精神科病院管理職者の為の人材育成力支援事業

事業代表者 : 川村道子
事業メンバー : 葛島慎吾
池間功一

本事業は、宮崎県内精神科病院の看護管理職者を対象に、自施設における人材育成力の向上を目指して、セミナーを実施しました。

全3回シリーズのセミナーに
県内11の精神科病院から、
22名の管理職者の方に
受講していただきました！



1回目のプログラム骨子

- ・精神科病院における看護師人材育成の課題について共有
- ・課題解決のための参加者の取り組みの実際について意見交換



2回目のプログラム骨子

- ・精神科病院における看護師人材育成に必要な看護管理者の能力として、特に人材育成におけるリフレクションについて演習を通して学修



3回目のプログラム骨子

- ・スペシャリスト人材の育成について考察し、所属施設における人材育成に係るビジョンを再考
- ・人材育成に係る取り組みの成果と課題について意見交換を通して整理

セミナーの実施内容

8月・11月・2月と全3回シリーズでセミナーを実施し、管理職者としてどのように組織運営の中で看護師を育成していくか、グループワークを中心として、互いに情報交換やディスカッションを行いながら学びを深めていきました。

全3回セミナー受講後のアンケートより（一部抜粋）

- <参加者A> リフレクションを行うことの有効性や効果が看護管理者にとっても成長につながり、人材育成には欠かせない取り組みであることが認識できました。
- <参加者B> それぞれの病院での取り組みや抱えている問題を惜しみなくお話しいただき、同じような立場にある者にしか知り得ない悩みや不安を聴いてもらえる場にもなっていました。
- <参加者C> 管理職として、若い世代にスペシャリストの魅力や良さをしっかり伝え人材育成に繋げていかなければいけないと感じました。